



教職課程センターだより 第11号

2021年4月6日（火）発行・配信
尚綱学院大学教職課程センター

教師の役割 (1)



昨日4月5日より、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、まん延防止等重点措置が宮城県にも適用されました。

- 「三密」（密集，密接，密閉）を避けること。
- マスクを着用すること。
- 手洗いや咳エチケットなどを徹底すること。
- 不要不急の外出を控えること。

など、自分のために、みんなのために、私たち一人一人ができることをしっかりやっていくことが大切ですね。お互いにこれまで以上に気を付けて生活していきましょう。

さて、私は栗原市の小学校の校長だった時に、併設の幼稚園の園長も務めていました。最初、私は「幼稚園は、子供をただ遊ばせているだけ」という印象を持っていました。

しかし、活動場面に応じて教師が適切に子供の学びと活動を援助する姿を目にする度に幼稚園に対する私の印象が誤っていたことに徐々に気付きました。

子供が互いに、あるいは教師と心を通わせて日々充実した園生活を送っていることが、保育の様子や掲示物、教師の眼差しや言葉掛け、そして園全体の雰囲気から感じ取ることができるようにもなりました。

そして、2年間の園長経験から、幼稚園では子供一人一人に教師の「目」と「手」と「心」が細かに行き届いた保育が展開されていることを学びました。

幼稚園教育における「教師の役割」については、次のように言われることがあります。

【幼稚園教育における「教師の役割」】

- 幼児が行っている活動の理解者としての役割。
- 幼児との共同作業者としての役割。
- 幼児と共鳴する者としての役割。
- 幼児のあこがれを形成するモデルとしての役割。
- 幼児の活動の援助者としての役割。
- 幼児が精神的に安定するための拠り所としての役割。



（平成11年6月：文部省『幼稚園教育要領解説』より要約抜粋）

この幼稚園教育における「教師の役割」は、基本的には他の校種の教師にも求められるものだと考えます。一人一人の子供の健やかな成長と発達のためには、教師が子供に対して多様なかわりをもつことが重要であることは今も変わりはなく、教師には子供理解と指導力の向上に研鑽することが求められています。

教師を目指す学生の皆さんにも、筆記試験の準備と並行して「教師の役割」ということを自分なりに考え続けていってほしいと思います。

（教職課程センター 特任教授 佐藤 佳彦）